



# 国労水戸

## 塚原委員長が抱負語る



地方本部は1月10日、2015年旗開きを水戸市内で開催しました。旗開きには、県内外の地域労組・政党など約70名が参加し盛大に行われました。旗開きで塚原委員長は、新たな闘いと決意を述べ、引き続き組織拡大に全力を挙げる年と強調し挨拶を行いました。

①安倍政権の暴走を何としても止めなければならぬ。集団的自衛権を始め、憲法改悪を目的とした戦争の出来る国作りを進めようとしている。②組織拡大は、本部指令を基に10%目標達成に向けた取り組みを本年も継続し運動を強化して行きますと訴え、2015年を組織の多数派を目指す闘いと共に、多くの課題についても全力で取り組むことを述べ年頭の挨拶としました。

国労水戸地方本部  
水戸市中央1-1-11  
ENYビル2F  
029-221-4008  
発行責任者 塚原良雄  
編集責任者 坂本公則

# さらに組織強化・拡大へ



## 新たな仲間といっしょに

昨年、12月1日に国労加入された清水秀尚さん（勝田地区分会所属）の歓迎集会在12月26日に開催され、東本部佐藤書記長・塚原委員長も含め14名が参加し盛大に行われました。

佐藤書記長及び塚原委員長からは、年末に入り短期間で2名の拡大に成功したことは、地方本部全体に活力が呼び起されました。今回の歓迎集会を皮切りに、多くの仲間を迎え入れたいと挨拶を行いました。

また、阿部分会会長からは、国労手帳とバッジが手渡し固い握手が交わしながら、共に頑張ろうと決意を述べました。

清水秀尚さんからは、国労に加入したことが本当に嬉しい事です。家族も含め歓迎頂き有難うございますと挨拶し交流を深めました。

## 旗開きで全組合へ挨拶



2015年地方本部旗開きで、塚原委員長は組合員へ次のように挨拶を行いました。

本年は戦後70年の年、来年は国労結成70年の節目の年です。昨年末の総選挙は、自公で3分の2議席を占めました。集団的自衛権の行使や憲法「改正」の発議等、「戦争の

できる国づくり」を整備しつつあり危険な方向へと進んでいます。

福島第一原発事故は未だ収束せず、14万人以上が避難生活を強いられています。その一方で、川内原発を始めとした再稼働の動きが加速しています。「原発ゼロを目指す」大衆行動を展開し脱原発社会の実現に全力をあげましょう。

組織強化・拡大の取り組みは、組織の10%目標を柱に機関会議を継続して行う中で昨年12月に3年8ヶ月ぶりに2名の仲間を迎え入れました。是非、今年は「国労に入れ！」を合言葉に、一人でも多くの組織拡大に向けお互いに奮闘してまいりたいと思えますと、

年頭にあたり決意を述べました。

### ◆来賓者

- 民主党 郡司彰、大島彰宏（秘書）、藤田幸久、福島伸行（秘書）、佐藤光雄 ◆共産党 大内久美子、江尻加那 ◆社民党 井坂章、狩野光昭、玉造順一 ◆新社会党 小林賢一 ◆連合茨城 日下部好美 ◆自治労 黒江正臣 ◆茨教組 吉田豊 ◆農協労連 会沢隆之 ◆茨職労連 安清次 ◆水戸職員組合 赤上正明 ◆中央・東北労金 藤井雅行、森敏幸 ◆平和擁護県民会議 川口玉留 ◆鹿島臨海労組 中島茂総 ◆プリマム労組 中島秋文、川又保男 ◆在日朝鮮茨城県本部 朴、蘆